

③ 大館環状道路の形成

市内中心部へ流入する通過車両の排除や市内外からの中心市街地への円滑なアクセスの確保、中心市街地内の移動性の向上を目的として、中心市街地を取り巻く形で「外環状道路」及び中心市街地内における「内環状道路」の形成を積極的に図る。

〔外環状道路の形成〕

●外環状道路については、現在整備中の大館西道路及びその側道「大館南バイパス」都市計画道路

路柄沢餌釣線、長根山運動公園

大館地区多目的ドーム(仮称)

西側「獅子ヶ森」大館西道路北

ICというルートで形成する。

●大館西道路の側道については、

現在片山沼沼間が供用区間とな

っているが、外環状線を形成

するためにはこの側道を釈迦内

地区の国道7号との接続ポイント

トまで北伸させるとともに、大

館南バイパスまで南伸させる。

●大館西道路の代わりに国道7号

の立花あたりから旧津軽街道沿

いに北上し、釈迦内で国道7号

と再び接続する路線についても検討する。

〔内環状道路の形成〕

●内環状道路については、中心市街地内の都市計画道路の一部をそれと位置づけ、特に内環状道路であると認識させるように道路水準を向上させながら、中心市街地幹線道路として積極的に機能させる。

④ 都市計画道路の事業化

▽市街地における移動の容易さと災害時における安全性を確保し

ていくために、すでに都市計画決定している24路線について段階的に整備する。とりわけ事業化が進んでいるものの、整備の必要性の高い路線についてその事業を積極的に推進。

●有浦東台線の改良事業

(平成9～15年度事業

予定)

●新町線の東大橋・橋桁線との交差部より東側の拡幅整備

(平成9～10年度事業予定)

●大館駅・東大館線の小坂鉄道軌道敷を越えて大館駅に結ぶ部分(平成10～13年度事業予定)

●大館駅・東大館線の国道7号との交差部より新町線との交差部までの拡張整備

(平成7～13年度事業予定)

▽東大橋・橋桁線のうち、新町線との交差部より南側につ

いては、住宅の密集及び混在化が著しく、その

の東西部で整備予定

の中央線や下代野・下町線の南側路線で代替

可能なものであるとし

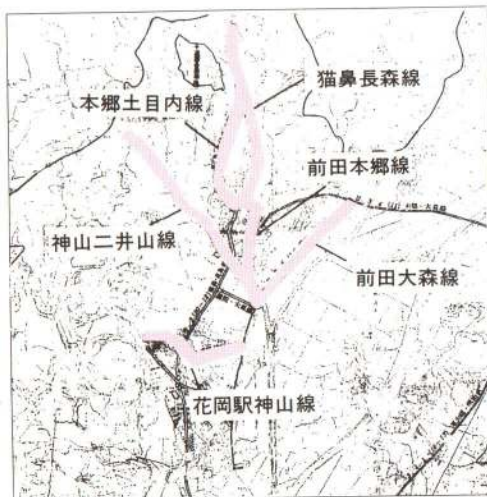
て、その見直しを行う。

▽城西・小柄沢線のうち

大館駅・東大館線との

交差部より西側部分に

ついては、大館南バイ



機能代替可能なものであるとして、その見直しを行う。

▽花岡地区における路線のうち、農道等の整備によりその機能が代替可能と考えられる花岡駅・神山線、前田・本郷線、本郷・土目内線、神山・二井山線、猫鼻・長森線の本郷・土目内線との交差部より北側、前田・大森線の北側については、それぞれの見直しを行う。

